

再任のご挨拶



教育長 梶原敏明

このたび、町議会の御同意をいただき、教育長に再度任命をいただきました。

玖珠町における子どもたちの教育、そして、文化、スポーツなどの社会教育の安定・充実・発展を担う職責をいただき、あらためてその任の重さに身の引き締まる思いでございます。

玖珠町には久留島武彦先生の「信じ合うこと」「助け合うこと」「違いを認め合うこと」など、人が人として共に生きていく上で必要な教えがあります。その教えから、平和で民主的で国際的な感覚を備えた人材の育成が求められています。

これからの教育行政の推進にあたりましては、新型コロナウイルス感染症などで予測不可能な社会情勢を鑑み、現状をしっかり把握し、児童生徒の教育はもとより、町民のスポーツ・文化活動などが一層充実したものとなるようP3C（ピンチをチャンスに、そして、チェンジ、チャレンジ）で取り組んでまいります。

また、未来を担う子どもたちのためには教育行政は何をしなければならぬかを意識し、未来に向けての中長期的な視点をもって次のように教育行政を推進してまいります。

学校教育におきましては、子ども一人ひとりの個性を尊重し、その可能性を広げ、「生きる力」を育むことが重要であり、今後の社会に適合する人材の育成にとどまらず、社会に積極的に関わり、行動を変革する担い手の育成を目指してまいります。

不登校の児童生徒への支援におきましては、社会的自立に向かえるよう、不登校児童生徒の実態に配慮した教育課程が編成できる支援体制整備が必要と考えております。

幼児教育におきましては、玖珠町全体の就学前教育・保育環境の充実が図られるよう、研修や人材育成などスキルアップの充実を図ってまいります。また、子どもの成長を共有する取組として、就学前教育と小学校教育との接続の一層の強化を図る必要があると考えます。

教育環境の整備におきましては、町内のそれぞれの地域にある学校の特色を最大限生かした取組として、「コミュニティ・スクールと地域学校共同活動」などを活用しながら、玖珠町の子どもたちにとって、より良い学びの環境づくりに努めるとともに、GIGA（ギガ）スクール構想における1人1台端末などICT環境の整備・活用をさらに進めてまいります。

社会教育・生涯学習におきましては、人生100年時代の到来やリカレント教育の重要性が指摘されている中、子どもから大人まで一人ひとりが、健康で豊かな人生を送ることができるよう、芸術、文化、郷土の歴史や自然、読書、スポーツなどに親しむ機会を充実するとともに、生涯を通じた学びの成果を

広く社会で共有できるよう、取り組んでまいります。

最後になりますが、「童話の里」玖珠町の教育行政として、久留島武彦先生の教えを中心に据え、学校教育と生涯教育が、さらに魅力あるものとなるよう取組を進めるとともに、玖珠町のまちづくりに寄与できるよう、誠心誠意、全力を尽くしてまいりたいと考えております。



情報端末を利用した授業